



### 成長の鍵

現在、学芸会に向けた練習が最終段階に入りました。子どもたちは、互いの個性を認め合いながら練習に取り組み、それぞれの演技に磨きをかけています。今の練習風景を見ると、本番の大成功を疑う余地はありませんが、学芸会本番までの道のりはなかなか大変なものです。そこで、今回は、私の経験をふまえつつ、学芸会に臨む学級担任の取組や思いを紹介したいと思います。

まずは、台本づくりです。絵本をベースにしたり、完全オリジナルであったりと教師によって作り方が違います。そして、学級の人数や雰囲気、学級担任が表現したい世界感など、様々な要素を盛り込んで仕上げます。また、その年に流行った言葉、ギャグなどが他の学年とかぶらないように相談することもあり、なかなか手の込んだ作業になります。

次は、劇を盛り上げるために欠かせない衣装や音楽です。衣装については、御家庭の協力を得たり、個人的なパイプを生かして他校の先生からお借りしたり、個人で作ったりして準備をします。面倒くさがりの私は、もっぱら「アマゾン」でした。音楽も場面の雰囲気に合ったものを探し出し、せりふのタイミングを考えながら流すための編集作業が必要となります。さらに背景や小道具です。実際に絵を描いたり、段ボールで製作したりするパターンもあれば、最近では、ICT機器を活用して物語の背景をスクリーンに投影するなど、新たな手法も取り入れています。

そして、最もエネルギーを注ぐ演技指導です。もちろん大きな声でゆっくり、はっきりとせりふを言うことが重要ですが、「間」をとることや、自分のせりふがない場面も動作で演じる大切さなどを伝えます。余談ですが、私は演技指導の際、あまりにもうまく練習が進まないため、子どもたちに「もう練習しなくていい」と吐き捨てて、職員室に帰るといった演技で、やる気を引き出す作戦を決行したことがあります。自分では最高の演技だと思いましたが、子どもたちのやる気はやや上昇。やらなきゃよかったと後悔しましたが、本番での子どもたちの演技を見て、「心に残る学芸会にしてほしい」という私の願いが届いていたことを確信しました。

今回、本校の学芸会に向けた取組を見ながら、子どもたちの成長に必要な鍵は、周囲の大人が握っていることを改めて実感しました。家庭では、衣装の準備やせりふの練習に付き合ってください保護者の皆さん。学校では、劇を成功に導こうと頑張る学級担任やそれを支えるために小道具を作る養護教諭、用務員、支援員の姿。そして、本番の演技を温かく見守ってくださる地域の方々。この環境があるからこそ、双岩っ子は心豊かに成長できるのです。いよいよ12月、2024年も終わりを迎えようとしています。今後も様々な教育活動を通して、「よく学び、明るくやり抜く双岩っ子の育成」に努めて参ります。どうぞ御理解と御協力をよろしく願いいたします。

(文責：後藤 敏夫)

### 12月行事予定

★ ICT支援員来校日

日	曜	行 事	給食
1	日		
2	月	県学力診断調査(5年)国・社・理 委員会	○
3	火	県学力診断調査(5年)算・英・質問 ★ 代表委員会	○
4	水	魚食教育(5,6年)	○
5	木	発達障がい支援アドバイザー訪問 合同発表会リハーサル	○
6	金	校内研修	○
7	土	小中合同学習発表会	—
8	日		—
9	月	繰替休業日	—
10	火		○
11	水	ALT 訪問 職員会	○
12	木	※ 5時間授業 下校 14:45	○
13	金	八代B人権・同和講演会(5・6年参加) 校納金	○
14	土		—
15	日		—
16	月	クラブ活動	○
17	火	シェイクアウトえひめ 個人懇談 13:30	○
18	水	※ 5時間授業 下校 14:10	○
19	木	下校 14:45	○
20	金	下校 14:45	○
21	土		—
22	日		—
23	月	ドローン体験②③ ★	○
24	火		○
25	水	第2学期終業式 校内研修 お楽しみ子ども会	—
26	木	冬季休業日(~1/7)	—
27	金		—
28	土	年末休業日(~31日)	—
29	日		—
30	月	12月の補充学習については、各学 年の学習状況を考慮して行います	—
31	火	ので、学級担任と御相談ください。	—

※ 12日、18日~20日は補充学習や学期末事務処理などの時間確保のため、5時間授業としております。御了承ください。

#### 【1月の主な行事等】

- ・ 第3学期始業式(8日) ・ ひまわり会(16日)
- ・ どんどこ紙相撲(17日) ・ 参観日【なわとび集会】(23日)
- ・ 学校関係者評価委員会(30日)

※ 現段階での予定ですので変更の可能性があります。